

各 位

2011年2月9日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 土谷 美津子
(コード番号 4343)
取締役経理本部長 井上 義信
(電話 043-212-6203)

2011年2月期 1年度の営業概況

1. 業績の進捗

1月度(2010年12月21日～2011年1月20日)の営業収益は、48億33百万円、前期比103.6%(曜日調整後105.3%)となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況

(単位：%)

	1月度		当期累計(3月度～1月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	103.7	104.0	95.3	94.9
商品売上	103.4	104.0	99.9	99.7
遊戯施設売上計	103.7	104.0	96.2	95.9
売上高合計	103.6	103.9	96.1	95.9

※今年度の1月度は昨年に対し、日曜日が1日減少し、平日の木曜日が1日増加しているため、売上高前期比伸び率への影響は1.7%減になります。

3. 営業の概況

1月度はプライズグループがクレーン・スウィート部門いずれも好調に推移し、売上高17億50百万円(前年同期比108.2%曜日調整後109.9%)、売上計画対比129%程度となりました。さらにファミリーメダルグループは売上高が12億47百万円(前年同期比98.5%曜日調整後100.2%)とほぼ売上計画通りに推移しました。その結果、遊戯機械売上は39億1百万円(前年同期比103.7%曜日調整後105.4%)、売上計画対比107.4%となりました。

また、商品売上は9億13百万円(前年同期比103.4%曜日調整後105.1%)売上計画対比114%となり、営業収益は計画対比108.8%となりました。

尚、原価の推移については、プライズグループやシールグループ(プリクラ)の構成比の上昇等にともない、景品原価や遊戯機械賃借原価は上昇傾向にあります。一方、店段階における経費に当たる営業原価は労働時間管理や家賃の引き下げ等で、売上総利益(荒利益)のコントロールを進めております。

4. 出退店の状況

今期に入り(2/21～12/20)新規出店は4店舗、退店は18店舗となります。

以上